



今日のテーマ

インドの財政政策

## Q インドの2016年度予算案のポイントは？

**A** 財政再建とモディノミクスの取り組みを継続するとともに、農家の所得増や地方経済の活性化により、モディ政権への支持を拡大する狙いがあります。

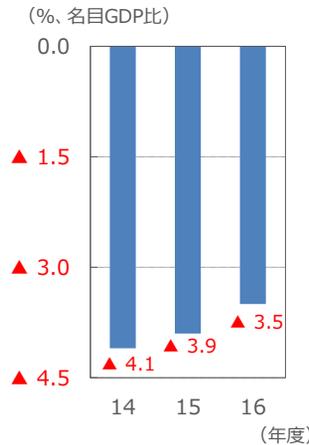
- インド政府は2月29日に16年度（16年4月～17年3月）予算案を発表し、財政赤字を従来の工程表通りに名目GDP比3.5%に縮減して財政再建を進める方針を示しました。
- 景気対策や人件費の増加などから、赤字幅は15年度（同3.9%）並みと見る向きが多かったことから、インド準備銀行（RBI）が利下げを実施しやすくなるとして国債利回りが急低下しました。
- また、政府は農家の支援や地方経済の活性化を重点課題として挙げ、大規模なかんがい整備や道路の建設などに力を入れる計画です。
- 一方、経済構造改革（モディノミクス）の目玉とされる物品・サービス税（GST）の導入や破産法の整備については、その取り組みを今後も継続する方針が示されたにとどまりました。今後関連法案が上程され、審議が進むかが注目されます。

【2016年度インド政府予算案】

財政再建	15年度財政赤字目標（名目GDP比、3.9%）を達成の見込み。 16年度目標は同3.5%と、従来の計画を維持。
農家支援、地方経済の活性化	かんがい整備などを通じて農家を支援、収入を5年間で倍増させる。 地方での雇用を促進、道路などのインフラ整備を拡大。
経済構造改革（モディノミクス）の推進	物品・サービス税（GST）の導入に取り組む。 破産法の整備などを通じて企業活動を円滑化。

（出所）インド政府の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

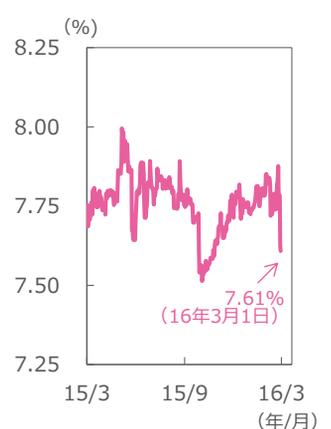
【財政赤字】



（注）14年度は実績、15年度は実績見込み、16年度は計画。

（出所）インド政府の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

【インド10年国債利回り】



（注）データは2015年3月1日～2016年3月1日。

（出所）Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

- 予算案は5月13日の国会会期末までに概ね提案通り成立すると見られています。モディノミクスを通じて政府は市場や産業界から高い評価を受けてきました。政府は、16年度予算の執行に沿って、農村など地方にも支持が拡大することを狙っていると思われます。

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。